

くるめ災害支援ネット「ハッシュ#」

近年、自然災害の中でも大雨による水害は、年々深刻な問題となつています。久留米市でも毎年のように水害が発生し、多くの家屋が浸水被害を受けています。

被害に遭われた人たちはもちろん、浸水のリスクが高いと想定される地域に住む人たちにとっては、生活を脅かす問題です。また、住んでいる場所に関わらず、誰もが被災者になり得るのが災害の怖さです。

「ハッシュ#」は、毎年のように起こる浸水被害に、少しでも早く、確実な復旧活動ができるように必要な知識、技術を多くの人たちに知ってもらいたいと、復興支援に携わる人たち（NPO・大学・社協等）の声をきっかけに生まれました。

講習会の開催

令和2年7月豪雨の後、「ハッシュ#」は善導寺校区と田主丸校区で実寸大の模型を使った「床下対応講習会」



模型を使つての講習会

を開催しました。これは、地域住民に浸水した家屋の適切な対応方法を知つていただくための講習会です。

模型の製作には、久留米工業大学の学生が、地域貢献活動としてボランティアで協力し、数か月かけて、和・洋室どちらも兼ね備えたものが完成しました。

この模型で、畳の上げ方から床下の土砂の除去、水抜き、正しい乾燥の方法が学べます。

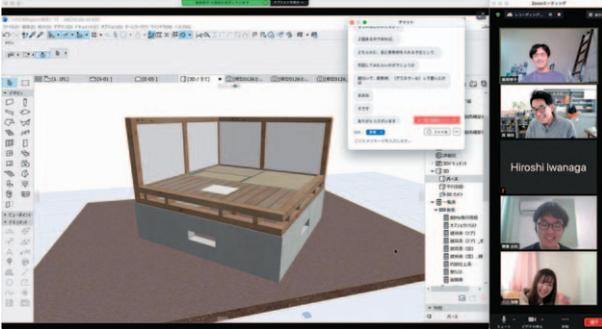
こういった「ハッシュ#」の活

動を通して、若い世代にも災害支援、地域活動の関心が広がっています。

今後の活動

「ハッシュ#」は、もしもの災害に備えて、これから様々な活動を進めていきながら、久留米市の地域防災力の向上に努めていきます。

そのためには、一人でも多くの人たちに参加いただくことが必要です。ご支援、ご協力をお願いいたします。



コロナ禍のため、オンラインで模型を製作する学生たち

市社会福祉協議会へ ご相談ください

市社会福祉協議会は、災害ボランティアセンターを設置し、被災された人の生活環境の回復等に関する相談を受け付け、災害ごみや家財の運び出しなどの生活復旧を支援しています。

災害が起こった際には、詳細を市社会福祉協議会のホームページ等でご案内します。インターネットがご利用できない人は下記までお問い合わせください。

問い合わせ

市社会福祉協議会ボランティアセンター
TEL0942・34・3035
FAX0942・34・3090
メール heartful@heartful-volunteer.net

団体紹介

2020年11月に発足

「ハッシュ#」は、久留米を象徴する久留米餅に使われている井桁模様とSNS等で使用されているハッシュタグ(#)からきています。

災害に関心のある人たちが井戸端会議のように、自然と集まり、話をし、交わって、つながりを強め、久留米市の地域防災力を向上したいという意味が込められています。

各校区、地域での研修会等の依頼も受け付けております。

また、会員も募集しております。



会長：藤澤健児 氏

問い合わせ

くるめ災害支援ネット「ハッシュ#」(担当:古賀)
TEL0942・34・3035(市社会福祉協議会)
メール hashkurume1109@gmail.com